

部活動改革と心田開発 第十五回

～ ありがとう！ パレット (後編 2022-2023) ～ 齊藤 勇

最後の謝恩会

本連載の第十三回・第十四回に続き、最初の文化系・地域部活動の六年間を綴る「ありがとう！パレット」の後編、その最後を締めくくる謝恩会を二〇二四年三月二八日に開催。四期生から六期生までの中学生・現役部員一九名、一期生から三期生までのOBOG二二名、総勢四〇名が出席。欠席者も出欠フォームに書き込まれたメッセージを司会が代読する形で実施。現役の中学生も半年ぶりの再会、OBOGに至っては更に久しぶり

の再会にみんな会話が弾んでいました。当日配布した記念リーフレットの見開きページには、一期生から六期生まで全員のイラストや顔写真で円形組織が描かれています。



地域部活 掛川未来創造部Palette 謝恩会
Palette 現役生 (4～6期生) 卒部 謝恩会 / OBOG (1～3期生) 近別謝恩会

ありがとう!
Palette

2024年3月28日 掛川市生涯学習センター 第4会議室
17時30分開場、18時開会、20時30分終了(満席希望)
主催：NPO法人 日本地域文化芸術継承会 (Paice)

2024年3月28日 最後の謝恩会
記念リーフレットの表紙



記念リーフレットの見開きページ 現役生とOBOGが一つの円を描く

部員固有の番号制を採用

リーフレット裏面には部員ナンバーとファーストネームを一覧にして、途中退部や他のクラブに移籍したメンバー全員を記載。

パレットでは入部の際、部員ひとりひとりに自由に選択可能な固有の番号制を採用(希望が競合する場合は抽選)、ユニフォームのTシャツの右肩には固有の番号とファーストネームと何期生かを刻印しています。

生徒が自主的・主体的に参加する部活動は、本来「加入と離脱の自由」が保障されなければなりません。退部や移籍は自由、活動期間の長さに関係なく、共に過ごした時間と関係性が失われることはありません。固有番号制(全員永久欠番制)をとったのは、パレットに参加した一人一人の存在を、後から上書きして消去しないようにするためです。部員の誰もが大切に、かけがえのない価値ある存在という考えに基づいています。

地域クラブ制度の本格化と部員の減少

二〇二二～二〇二三年度の二年間の活動については、本連載の第二回・第三回で二〇

二二年度、第四回・第六回で二〇二三年度の活動を上げています。特に第六回の中で、地域クラブへの展開が部員激減につながっていた経緯についてふれています。二年間の詳細は割愛させていただき、最後の謝恩会で現役部員とOB OGが語ったメッセージの一部を紹介します。

現役部員とOB OGのメッセージ

『(学校部活で) やりたいことが見つからなくて入ったけど、普通ではできないことをたくさんできて貴重な経験になりました。一緒に楽しんで活動してくれる仲間が見つかったって本当に楽しかったです。』(現役部員、四期生・中三)



現役部員メッセージ
Palette 4期生 (中3、新・高1)

『パレットの時は(齊藤さんが)いろいろな企画を持ってくれて、私たちはそこに乗っかることが多かったけど、今度からそういう機会はなくなるかもしれないが、社会には様々な機会があるので、自分で調べてみて、

自分から掴み取りにいった積極的に参加することも大事なんじゃないかと思っています。私も中学生の時に好きなことができたパレットがあつて良かったし、(皆さんも)パレットでの思い出をこれからも大切にしてください。』(OB OG、一期生・高三)



OB OGメッセージ
Palette 1期生 (高3、新・大1)

みんな入部ありがとう！

二〇一八年創部時、当時一年生のみで行った歓迎行事で掲げた文字カードを、今回現役部員たちが持って、全員で記念写真を撮影。最後に司会の一期生二名の言葉に続き、みんなで三回『ありがとう！』を声にして六年間の歴史の幕を閉じました。(下段に記載)

一人一人の個性が輝いた唯一無二の地域

Paletteに入部してくれて
ありがとう！

一緒に過ごした仲間に
ありがとう！

みんなで創った Palette に
ありがとう！



「地域部活 皆で入部 ありがとう」を掲げて歌う Palette 1期生
2018年5月12日、お互いを歓迎した Welcome Party にて
(掛川市美感ホール)

部活。徳を以って徳に報いる、一人一人が持つ徳に、心から感謝の気持ちを込めて言葉を送りたいと思います。『ありがとう！』



6年前の文字カード「地域部活 皆で入部 ありがとう」を掲げて、現役部員 & OB OG 全員で撮影
2024年3月28日 最後の謝恩会 ありがとう！Palette (掛川市生涯学習センター・第4会議室)